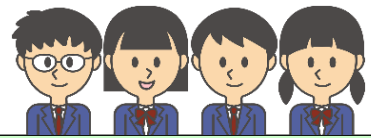


保健だより 輝け



2024年10月23日 10月特別号
一宮市立大和中学校

●9月25日(水)がんについて学んだこと

次の質問に○×で回答しましょう。回答は保健だよりの内容にあります。読んで探してね。

番号	質問内容	○×
1	日本人の2人に1人が生涯でがんになる。がんは誰でもかかる可能性がある。	
2	日本の主ながんによる死亡数の1位は、大腸がんである。	
3	早期発見すればがんは治りやすい。9割の人が治る。	
4	毎日お酒を飲み、たばこを吸っても、がんになる可能性は低い。	
5	がんの予防で大切なことは、生活習慣と定期的ながん検診である。	

第2回学校保健委員会 1・2年生「いのちの授業～がんを知り、共に 支えあい、自他のいのちを大切にしよう～」

9月25日(水)第2回学校保健委員会を、講師に一宮市立市民病院緩和ケア科医師草田典子先生をお招きし、行いました。

1・2年生は草田先生の講演で、①がんってどんな病気?②日本におけるがんの現状③がんの原因と予防④がんの治療と緩和ケア⑤がんと共に生きる社会についてお話を聞きました。

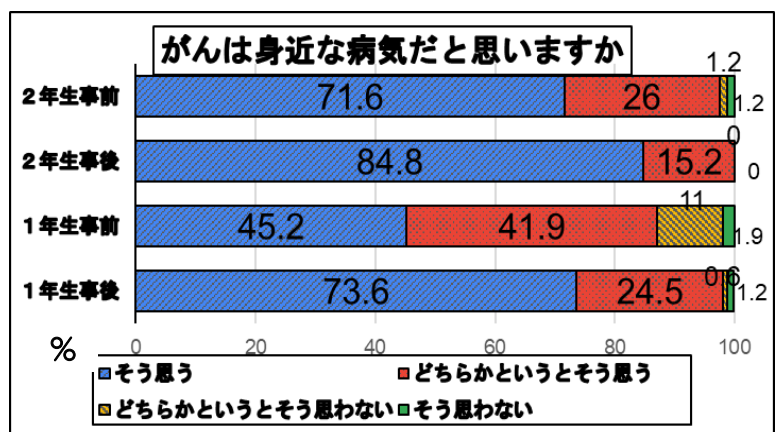
「がんは、日本人の 2人に1人 が生涯でがんにかかる身近な病気である」「日本の主ながんによる 死亡数の1位は、肺がん である」などを知ることができました。

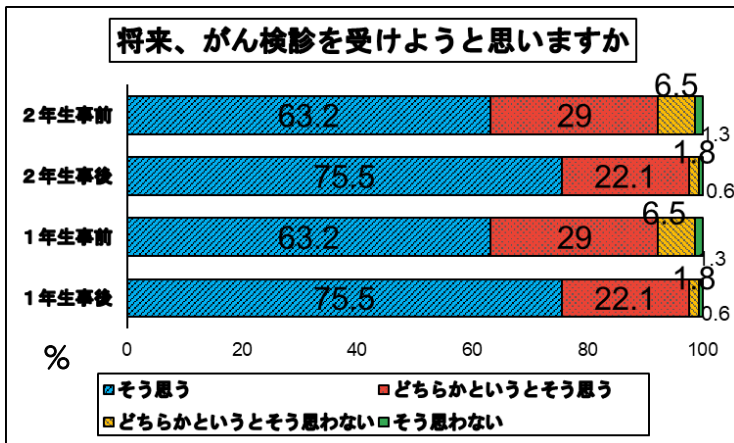
また、「がんは異常な細胞ができて、その細胞が増殖し、かたまりとなって血管に入り込んで全身に広がる」という病気だとわかりました。がんについて正しい知識を得ることができました。

がんは、たばこの喫煙、かたよった食生活、運動不足、飲酒など生活習慣と関りが強い病気です。



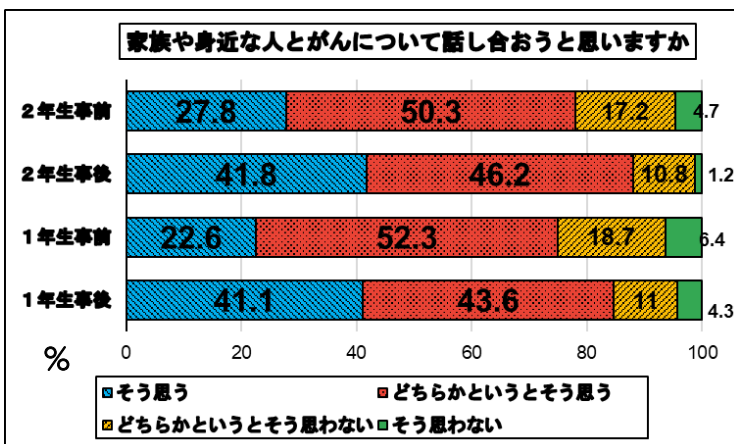
1・2年生アンケート結果(事前9/5、事後9/25実施)





がん検診などで、早期発見すればがんは治りやすく、**9割の人が治る**と言われています。

毎日お酒を飲み、たばこを吸って、食生活が乱れるとがんになる可能性は高くなります。がんの予防で大切なことは、生活習慣と定期的ながん検診を受けることだと学びました。将来、がん検診を受けることの大切さを理解しました。



今回の講演を聞いて改めて命の大切さを考えさせられました。がんは誰でもなる可能性があり、とても身近な病気でも早期発見をすれば治る可能性が高いことがよくわかりました。家族でもがんについて予防の仕方など話し合おうと思いました。
(2年生の生徒の感想より)

がんと共に生きる社会、がん患者が暮らしやすい社会について知り、今できることを考えました。「家族や身近な人とがんについて話し合おうと思うか」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が事後に増えました。いのちの大切さを実感することができました。

3年生道徳 「よりよく生きる喜び」 「小児がん」のことを知り、「いのち」について考えましょう。

3年生は、道徳で、①がん和小児がんについて②小児がんにかかった2人の少女の実話から、いのちについて考え、③周りの人たちの愛情の深さや支えの力強さに気づき、④いのちの大切さと生きることについて学びました。



小児がんは15歳未満の子供のがんの総称で、毎年新たに約2500人(1万人に約1人)の子供が発症しています。原因は不明です。小児がんは70~80%は治る病気といわれています。病気を理解し、周りの人への感謝を忘れず前向きに生きることや、かけがえのない命を一生大切にしたいと思えます。

健康に生きられていることに感謝していこうと思う。病気の人に対して普段通りの接し方で話そうと思った。自分の周りの人をこれまで以上に大切にしていこうと思う。
(3年生の生徒の授業の振り返りより)